

函館山の麓、西部地区がらまちづくりと一緒に！

# はこまち通信 クーポラ

2022.4

vol. **60**

おかひさまで

函館市地域交流まちづくりセンターは  
2022年4月1日で開館15周年を迎えました

## 15<sup>th</sup> Anniversary



函館の市民活動団体「総合型地域スポーツクラブ Bay Walk Community はこだて」  
のみなさん(詳細はP5)

まちづくり、市民活動、各種助成金、  
移住・定住に関する問い合わせなど、  
お気軽にご相談ください。

11 住み続けられる  
まちづくりを



17 パートナリシップで  
目標を達成しよう



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

●まちづくりセンターで行われている講座案内や市民活動団体などの詳細は、ブログやホームページをご覧ください。

発行／函館市地域交流まちづくりセンター

<https://hakomachi.com>







お聞きしました

函館市地域交流まちづくりセンター  
センター長 丸藤 競

函館市の町会活性化  
アドバイザーも務める

ゲスト

函館市町会連合会  
事務局長 中村 馨さん

[問合せ]  
函館市総合福祉センター3階  
☎ 0138-22-0180

ゲスト

函館市市民部市民・男女共同参画課  
町会担当 小林 文京さん

[問合せ]  
函館市役所4階  
☎ 0138-21-3139

少子化とともに、全国平均より20年早く高齢化がすすみ、独り暮らしや空き家が急増していく函館では、福祉・健康・防災・生活支援を一体化させた活動が必要となります。その時地域づくりの要となるのが「町会活動」。

今回は、今後その必要性が高くなる一方、普段接する機会が少ないという方も多い「町会活動」についてお伝えします。



**丸藤:**町会って何をやっているの?という方がけっこう多いと思います。

**小林さん:**現在、函館市内には178町会あり、代表的な活動としては、回覧板などを使って地域の情報を伝えたり、子どもや高齢者の見守り、町内の清掃、新聞や雑誌などの資源回収、町内に住んでいる方同士の親睦等を行っています。あまり知られてませんが、**街路灯の設置や維持管理なども行っています。**

**中村さん:**地域の困りごとなども、個人で話しているだけでは解決に結びつきにくいかもしれませんが、町会という組織を通して対応すると、陳情等、解決に向けた動きがとりやすくなります。まちを良くしていくための活動をしているんです。

**丸藤:**一方で、課題もあると聞きました。

**中村さん:**よく言われますが加入率の低下や、町会役員の高齢化は大きな課題です。町会ができて60~70年になるのですが、先ほどの回覧板も若い人ならSNSの方が便利だとか、見守りにしても直接関係ないよという世代の方もいます。普段あまり町会との接点がない方にも、町会のことを知ってもらいたいですね。

**小林さん:**昔は町会に入ることが当たり前のイメージもありましたが、今は、なぜ町会に入らなきゃいけないの?とよく言われます。町会の活動や関わっている人について、もっとよく知ってもらうことが必要だと考えています。

## 若い人が活躍できる町会

**丸藤:**特に若い人は、町会との接点が少ないですね。

**小林さん:**若い人から、地域に必要なことややりたいことを出してもらおうと良いかもしれませんね。若い人ならではの新しいアイデアも活かすことが出来ればと思います。学生さんから子育て世代、年齢でいうと40代くらいまでの人が、多く加入していただけたら心強いですね。

**中村さん:**若い人が町会で活躍できるような環境づくりも必要です。登下校の見守りなど身近な活動を知ってもらえるようなアピールも大切だと思います。

3Pへ続く▶



## 災害時に 協力しあうために

**小林さん:**胆振東部地震によって引き起こされたブラックアウトでは、町会が地域の“よりどころ”となったという話も聞きました。ただ災害時に協力し合うためには、普段からつながりも大事にしていかなければと考えています。

**丸藤:**そのためにも、活動を知ってもらうことは大事ですね。

**小林さん:**地域のために頑張っている人がいることを知ってもらいたいですね。加入を押し付けるのではなく、自発的に町会に入りたいという人が、でてくるのが理想です。

## YouTubeで 情報発信

**丸藤:**ユーチューブに、町会の活動を紹介する動画を載せたと聞きました。



**小林さん:**178町会の代表的な活動を紹介するために、市内の5町会に出演していただいています。**Instagramでも活動を紹介しているんですよ。**自分の知っている人や風景が見られるので興味が湧くと言ってもらってます。



**中村さん:**2月の中旬から末くらいまで函館蔦屋書店の2階イベントスペースでこの動画を放映していただきました。町会の方からは、普段の活動を多くの方に見ていただき知っていただけて嬉しいという声をいただきました。**小林さん:**多くの方に知っていただくことで、やりがいにもつながります。

「函館町会活動PR紙  
#住んで良かったこの町」表紙より▶  
地域のこどもを見守る  
あたたかいまなざしが印象的です。  
(発行／函館市市民部  
市民・男女共同参画課)



## 2つの町会で 新たな動き

**丸藤:**今年度から、町会活性化に向けた動きも始まりましたね。

**小林さん:**町会活性化モデル事業として、今年度は2町会、大手町会と万代町会をモデルとして実施しました。中村さんにはサポーター、丸藤さんにはアドバイザーとして協力していただきました。

**丸藤:**具体的にどのようなことをしたのかを、お聞かせください。

**小林さん:**町会が抱えている課題を出してもらい、一緒に解決策を考えました。何をすれば活性化するのか、その方法を具体的に検討し実行しました。

**大手町会**では役員の担い手不足や負担のため、業務の棚卸をしたり、活性化を担う人材候補を確保するために人材リストを作成したりしました。

**万代町会**では、防災訓練を通して企業との連携や情報発信の強化を実現していきました。

**中村さん:**会議の活性化ができましたし、各町会の課題が見える化し改善へと進めることができたのでとても感謝しています。

**小林さん:**町会のみなさんとの信頼関係も出来てきて嬉しかったですね。

**中村さん:**何度も町会に通い一緒

に考えていく中で、顔が見える関係や役員の皆様の人となりなども知ることができ、とても楽しい時間を持つことができましたよね。

## 楽しみながら 地域のために

**丸藤:**最後に、町会活動に対してこれだけは伝えておきたいということがあれば、お願いします。

**小林さん:**町会の活動というのは、みなさんの助け合いや支え合いがなければ続いていかないということを知ってもらいたいですね。

**中村さん:**地域のためになぜやっているかということ、楽しいからなんです。そのことをぜひ伝えたいです。

**丸藤:**大変なこともあるかもしれませんが、その大変さも含めて皆さん楽しそうに活動していますよね。

**中村さん:**ある町会の会長さんは、「大変だ、大変だ」と言いながらニコニコ元気にしていますよ(笑)

**丸藤:**地域のための活動って、やはり楽しいんですね!









## 函館・道南の市民活動団体トピックス

私もやってみたい！  
一緒に応援しませんか？

函館・道南で活動する市民活動団体の最新情報をお届けします。広報誌クーボラ掲載希望の団体も随時募集中！まちづくりや市民活動に興味をお持ちの方はまちセンまで。もしくは直接、それぞれの市民活動団体までお問い合わせを。

- ✿ 団体の会員になって共に活動したい方
- ✿ ボランティア活動に興味がある学生の方や一般の方
- ✿ 団体の活動を物資や資金面で支援したい方
- ✿ 市民活動団体と協働で取り組みたい方
- ✿ 地域を支える人を取材したい学生・メディアの方

### にっぽん生活文化楽会 (函館市女性センター指定管理者)

新型コロナウイルスの影響による経済的理由などから生理用品を購入できないなど、様々な不安を抱える女性に対して、相談窓口の開設や居場所づくりに取り組んでいます。お困りの方はお気軽にお問い合わせください。

女性センターや市内各所で生理用品を設置しています▶  
(にっぽん生活文化楽会提供)

### 不安を抱える女性をサポート！



▲団体HPは  
こちら

### 函館港イルミネーション映画祭実行委員会

映画祭の上映会場『函館市公民館』の遮光問題を解消するための費用をクラウドファンディングで募りました。開始から1週間ほどで目標額を達成。支援者から激励メッセージも届き、2022年12月の開催に弾みがつきました。

上映会場の函館市公民館で記念撮影 (実行委員会より提供) ▶

### クラウドファンディングに挑戦！



▲団体HPは  
こちら

### 総合型地域スポーツクラブ Bay Walk Community はこだて

老若男女、障がいのあるなしにかかわらず、天候関係なく屋内で競い合えるスポーツ『ポッチャ』を2019年11月よりはじめました。感染症対策を徹底して活動しています。春夏秋冬、さまざまなスポーツやエクササイズに汗を流す会員たちの健やかな様子や笑顔を伝えるため、SNSで積極的に情報発信しています。

パラリンピックでも注目の競技『ポッチャ』▶

### 屋内スポーツに挑戦！



▲団体動画は  
こちら

制限がある今だからこそ、  
地域には NPO・市民活動団体の  
活動が必要です。



最大限の対策を  
行って

緊急時には  
柔軟に判断して

活動を止めない



市民活動団体の  
みなさん！

函館道南のNPO・市民活動をサポートする地域交流まちづくりセンターにご相談ください

#### 北海道の市民活動の継続に向けて

北海道内中間支援組織「コロナアクション」  
2021年8月11日付の関連ページはこちら▶



新型コロナウイルス感染症対策活動団体  
支援協議会

<https://covid-19.npoproject.hokkaido.jp/>

こちら▶







もっと  
知りたい!

## “はこだて暮らし”をメルマガで

移住サポートセンター▲  
(函館市地域交流まちづくりセンター内)

移住サポートセンターでは、移住を検討中の方はもちろん、すでに移住された方の“はこだて暮らし”にも役立つメルマガジン（メルマガ）を、月に2回お送りしています。2022年3月現在、登録者数は540人超で過去最高を更新中!登録は無料です。右上のQRコードからお気軽にお申し込みください。これまで取り上げた主な話題をご紹介します。

※春夏秋冬の函館…気温・気候・服装・春は桜の開花状況・冬は積雪状況

※Instagramとの連携 (@hakodatekurashi)

※Instagramの画像をご覧いただきながらメルマガを読むと、より鮮明に“はこだて暮らし”がイメージできると思います。

アカウントをお持ちの方はぜひフォローをお願いします。ハッシュタグは #はこだて暮らし です。

※函館の最新情報…イベント情報、函館特集のテレビ放映情報、函館ロケの映画公開情報

※函館市からのお知らせ…ワーケーション、ちょっと暮らし、移住支援制度、市民向けのサービス

(市営・道営住宅情報、子育て支援情報、起業支援情報など)

※オンライン移住セミナーのご案内

※ふるさと回帰支援センター（東京有楽町の移住相談窓口）からのご案内

※市民と移住者の集い…「まちセン茶論（P7参照）」

「まちセンカフェ&オンライン」開催日程のご案内

※移住サポートセンターへの相談方法のご案内（電話・メール・ご来館・オンライン）

※はこだて暮らしコンシェルジュ谷口からの

ワンポイントアドバイス…冬道の歩き方など



2021年5月6日付

函館でチューリップが見ごろを迎えるのはGWです

## 配布先・問い合わせ先

『はこまち通信クーポラ』2022年4月 vol.60

■発行／函館市地域交流まちづくりセンター

■住所／〒040-0053 北海道函館市末広町4-19

■TEL／0138-22-9700

■FAX／0138-22-9800

■開館／9:00～21:00

■休館日／12月30日～1月3日



<https://hakomachi.com>

このほか器材点検のため月1回程度、臨時休館する場合があります。  
詳しくはセンター内やWebでお知らせしています。

建物裏手に駐車場あり。  
2時間まで無料。

指定管理者／  
NPOサポートはこだてグループ  
(2007年4月～)



## 『はこまち通信クーポラ』編集室だより

2022年はまちづくりセンター開館15周年を迎えます。感染症の影響により、みなさまにはご迷惑・ご不便をおかけしております。未曾有の時代だからこそ、市民活動のニーズが高まっています。今後も団体のみなさまをサポートしていきますので、スタッフへお声がけください。（編集長／谷口 真貴）

### ●主な配布先（敬称略）

函館市役所1F／亀田支所／湯川支所／銭亀沢支所／戸井支所／恵山支所／榎法華支所／南茅部支所／函館市中央図書館／渡島総合振興局／函館市企業局アクロス十字街／総合保健センター／函館市民会館／函館アリーナ／函館市女性センター／函館市青年センター／函館市公民館／函館コミュニティプラザGスクエア／函館市青少年研修センター／ふるる函館／中島れんぱいふれあいセンター／函館市総合福祉センターあいよる21／函館市勤労者総合福祉センターサン・リフレ函館／亀田交流プラザ／どさんこ交流テラス（東京 有楽町）

『はこまち通信クーポラ』に関するご意見、ご感想をお寄せください。HPにメールフォームがございます。

次号は6月30日発行予定です（年4回）



Hakodate Community Design Center vol.60 2022年4月

コロナ禍でもイベント催しのご相談はお気軽にどうぞ!!（水戸部）

※月に一度平日開催

## 市民と移住者の集い まちセン茶論

参加者同士が顔見知りになり、交流を図る場としてお気軽にご利用ください。はこだて暮らしコンシェルジュ谷口がみなさんのご相談に応じます。

【今後の予定】4月12日(火)  
5月10日(火)  
6月14日(火)  
時間／13:30～14:30



▲感染症対策をとりながら開催しています



▲  
まちセン茶論の  
詳細はこちら

2022.2.13(日)

## シーニックdeナイト2022

2008年より続くキャンドルイベントに毎年参加しています。この日は風も穏やかで、夕暮れから日没にかけて幻想的な風景が楽しめました。休止している外観ライトアップもあわせて実施しました。



▲  
関連ブログは  
こちら

2022.3.15(火)迄

## 丸井の思い出エピソード募集

開業130周年を記念して、丸井今井函館店が企画・募集しました『思い出エピソード』。まちづくりセンター(旧丸井今井をリノベーション)特設コーナーにも、多くのエピソードが寄せられました。



▲  
関連ブログは  
こちら

2022.3.18(金)

## はこまち通信クーパー増刊号『移住』発行

『函館移住』に特化した広報誌クーパー増刊号『移住』を発行いたしました(A5判)。函館市内の公共施設や、ふるさと帰郷支援センター(東京・有楽町)等で配布中です。



▲  
関連ブログは  
こちら

発行元／函館市への移住相談窓口『移住サポートセンター』▲  
(函館市地域交流まちづくりセンター内)





## センター長 丸藤の「いま 伝えたいこと」

### おかげさまで15年

**早**いもので、まちづくりセンターがオープンして15年が経ちました。今思うと、当時はまちづくりの知識も経験も未熟、公共施設の運営も未経験の中、必死の毎日でした。駐車場に花が咲いているのを見る余裕もなく、日々の出来事と格闘していました。色々な出来事を乗り越えてこれたのも、多くの皆様からのご指導のおかげです。

**何**より嬉しいのは、多くの方との出会いが生まれたことです。私自身はもちろん、多くの利用者の皆さんにとっても様々な出会いの場となりました。まちづくりで大切なのは人とひととのつながりと言われますが、出会いをもとにした新しい活動のきっかけづくり等に、少しは役に立つことができたと思っています。

**施**設としても、市民活動団体はもちろん、町会さん、福祉関係の皆様、他自治体のまちづくりセンター等とのつながりも強くなってきましたし、移住者との交流も進めてきました。

**15**年の積み重ねは大きいと感じつつ、次の動きを考えているところです。未来に向けては次号をお読みください。



この場所で多くの方と出会って、つながりを深めてきました▲  
(2022年vol.60の対談・2008年vol.7の対談)

#### 1F 福祉の店 どんぐり 2号店

- 営業時間／10:00～15:00
- 定休日／土日祝日・施設休館日
- 授産製品を扱っています。

函館みやげにオススメのクッキーをはじめ、布バッグや布ぞうりなどのハンドメイド雑貨も豊富です。

👉【オススメ】土偶クッキー 800円  
(2枚×6袋入 税込)

北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録でますます人気が高まっています。



#### 1F 喫茶コーナー Cafe DripDrop

- 営業時間／10:00～17:00 (変更の場合あり)
- 定休日／水曜日・施設休館日
- 自家焙煎、ハンドドリップのコーヒーで一息つきませんか？
- 営業時間など最新情報は

お店のSNSをご覧ください▶



👉【オススメ】マーマレード 450円(税込)  
<140g 瓶入り>

トーストに添えているのは水俣の無農薬甘夏で毎春作っているもの。限定で、瓶入りも販売しています。



[喫茶・ショップお問合せ先] 電話 0138-22-9700 函館市地域交流まちづくりセンター



Hakodate Community Design Center vol.60 2022年4月

まちづくりセンターの「SNS」お気軽にフォローしてください。「㊦ 函館 まちセン」で検索！